



## 歩行者事故につながる様々な危険を疑似体験 「交通安全危険予測シミュレーター(歩行者編)」 7月に新モデルリリース

株式会社ラッキースoft

株式会社ラッキースoft(神奈川県平塚市、代表取締役三田村もな美)は「交通安全危険予測シミュレーター(歩行者編)」の新モデルを7月に発売します。

旧型は全国の都道府県警察本部や自治体、民間企業に広く導入され子ども向けや高齢者向けの交通安全講習、企業研修、イベント等で活用されています。

会社ラッキースoft(7/1より「株式会社PRIDIST」に社名変更)、「同社HP(<https://www.luckysoft.jp/>)」電話0463(23)7830(担当:武藤)。

このシミュレーターは、歩行者が事故に遭わないための危険感受性を養い、危険を予測する能力を学ぶ歩行疑似体験システムです。3画面モニターの前で足踏みをする

歩行者編のシミュレーターに加え、自転車や自動車シミュレーターを体験可能なものもモニターを追加し全4画面にすることで左右の後方の安全確認の重要性を学ぶことができま



と、モーションセンサーが体の骨格や動きを読み取り映像が前進します。手挙げ動作を自動車

す。結果表をさらに分かりやすいレイアウトにし、個々の体験内容に応じた評価やアドバイスによる効果的な振り返り学習が可能になりました。

一般的な法人日本交通安全教育普及協会の監修を得て教育現場のノウハウを取り入れ制作されています。

お問い合わせは株式